



▲藤江保雄さん

藤江さんは、昭和二十六年四月一日より四十年間の長きにわたり、公立中学校教諭、公立小・中学校長を歴任されました。また、その後も、兵庫県教育委員会事務局社会教育主事、指導主事として、高く豊かな識見と卓越した指導



▲前川敬一さん

前川さんは、昭和二十年三月に兵庫県立豊学校を卒業後、兵庫県経済農業協同組合連合会など農協業務に長年勤め、平成九年一月から現在に至っては、あわじ島農業協同組合代表理事組合長として、県内十四農協の中で野菜出荷額六

春の叙勲

産業振興や教育、地方自治、芸術文化など様々な分野において貢献した方に贈られる叙勲。前川敬一さん（榎列）に旭日単光章が、藤江保雄さん（神代）に瑞宝双光章が贈られました。

割（一位）を占め、タマネギやレタスのブランド化に成功し、淡路島を全国的に有名な産地に導きました。受章に際し「先輩、同僚に恵まれ章を頂いた。大きな章を頂き感激しています」と喜びを語っています。



▲真剣な表情で勾玉づくりに励む子どもたち

母の口で手作り勾玉をプレゼント

子どもの居場所づくり広田教室

地域で活動場所をつくり子どもたちを育てる「子どもの居場所づくり広田教室」が五月八日、緑公民館で開校しました。放課後や週末に地域の大人たちの協力を得て、安全で安心な子どもの活動拠点として文部科学省の委嘱を受け行われ、南あわじ市内では五月か

ら十二か所で開催されています。この日は、同教室運営協議会長小林昇氏の開校あいさつに続き、小学校低学年の児童十四人が「勾玉づくり」に挑戦、埋蔵文化財事務所の定松佳重さんらの指導により、およそ二時間で独特な形の勾玉が出来上がりました。子どもたちは、出来あがったばかりの勾玉を母親らにプレゼントしていました。

花の庭でおもてなし

あわじオープンガーデンが開催

島内のガーデナーが自宅の庭などを一般の方々に公開する「第四回あわじオープンガーデン」が南淡路地区、北淡路地区でそれぞれ二日間に行われ開かれました。あわじオープンガーデンは、花づくりやまちづくり、沿道緑化などに取り組みガーデナーを通じて、淡路島の魅力を知っていただくとうと平成十三年から毎年開催。今年も島内

七十二軒のガーデナーが参加されました。南あわじ市内では五月十四・十五日の両日行われ、多くの方々が公開されているお庭を順番にまわり、庭に咲く多種多様な花を鑑賞していました。お庭を公開した市徳長の堀川千代子さんは「花を通じて人との繋がりが出来るので楽しい」と話していました。



▲ガーデナーのお庭を觀賞する人たち



▲ハンマーで岩を砕きながら化石を探す参加者

目を輝かせ化石を発掘

アンモナイトや二枚貝など採取

多数の化石が採取されている淡路ふれあい公園で五月十四日、「南あわじの化石発掘体験会」が開かれ、親子連れなど約三十人が参加しました。この体験会は多くの方々に化石に興味を持ってもらおうと、県立人と自然の博物館と南あわじ市教育委員会が主催。昨年四月に全国でも希少な翼竜の首骨の断片化石が見つかった泥岩の残りを利用して開

かれました。最初化石の説明があり、同館の古谷裕研究員が「翼竜の断片化石の続きがあるかもしれない」と話すと、参加者は期待に胸を膨らませていました。発掘が始まると、子どもたちもハンマーで岩を砕きながら凝視。それらしいものが見つかるか、研究員が化石かどうかを判定していました。この日は、アンモナイトや二枚貝、巻貝など約百個の化石が発掘されました。

ハモのシーズン到来を告げる

はも 鱧供養祭を開催

ハモの季節を迎えるにあたり、ハモの御霊の供養と豊漁・商売繁盛を祈願する『鱧供養祭』（灘・沼島観光ふるさと会主催）が5月24日、沼島で行われました。

この日は、ハモ料理を扱う旅館や料理店の関係者ら約30人が西光寺に集合、昨年食されたハモに焼香し、お礼と感謝を込めて供養しました。その後、漁船に乗り込み、沼島の名所・上立神岩付近の海上から丸々と太った全長約1メートルのハモ5匹を豊漁の願いを込めて海に放ちました。



▲丸々太ったハモを放流

学びを通じて生きがいと健康づくり 老人大学開講式

学びを通じて仲間づくりや生きがいのある生活を過ごすことを目的に「第24回老人大学うずしお学園」の開講式が5月14日、三原公民館で行われました。和太鼓グループ「薨」の元気な演奏で開幕、220人の受講者が学園歌を合唱し開講を喜びました。

学園長の中田市長は「挑戦することが大切、学んだ成果を地域づくりに生かしていただきたい」と受講生に呼びかけました。



▲オープニングを飾った「薨」による和太鼓演奏

受賞おめでとう

齋藤きみ多さん、西村眞さん、厚生労働大臣表彰

長年にわたり民生委員・児童委員として社会福祉の増進に貢献された方を表彰する「厚生労働大臣表彰」に齋藤きみ多さん（津井）と西村眞さん（倭文）に贈られました。齋藤さんと西村さんは昭和五十八年から平成十六年までの二十二年間、民生委員・児童委員として地域福祉の向上に尽力されました。

自治功労表彰

県政の進展、公共の福祉増進に功労のあった方やその他広く県民の模範となつた次の方々に「兵庫県功労者表彰」が贈られました。■祖山進司さん（湊）に自治功労表彰 祖山さんは、昭和三十三年に西淡町役場に奉職。平成七年六月に西淡町収入役

文化功労表彰

に、平成十三年に助役に就任し、平成十七年一月の合併までの間、特別職として西淡町の教育・文化・福祉・産業の推進に多大な功績を残されました。■竹本友喜美さん（福良）に文化功労表彰 竹本さんは、淡路人形浄瑠璃の数少ない伝承者として、県内外の舞台に出演して、技芸の向上と普及に努力。約二十か国におよぶ海外公演にも取り組んでいます。また、小学校・公民館等で人形浄瑠璃の指導にあたるなど、地域と密接に結びついた活動により、後継者を育成し、伝統芸能の保存につとめられています。

農林水産功労者表彰

農林水産功労者表彰 川本さんは、昭和四十八年に地域の出荷組織びわYSK組合を立ち上げ、びわ販売に尽力。出荷形態の改良、栽培技術の研究にも熱心に取り組んでいます。また、淡路果樹協会会長、果樹研究会副会長などの要職を務め、果樹栽培振興に大きく貢献されています。

まちかどピックアップ

地域の催しや明るい話題などをご紹介しましたら、気軽に広報係までご連絡ください。 43・5002（秘書広報室）

